



JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2

Wednesday 19 November 2008 (morning)
Mercredi 19 novembre 2008 (matin)
Miércoles 19 de noviembre de 2008 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à amener des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.
- No se permite traer a la sala de examen copias de las obras estudiadas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した Part 3（ジャンル別の部門）の中の、少なくとも二作品に言及しなさい。なお、Part 3 の作品に加えて、Part 2（精読の部門）の同じジャンルの作品を扱ってもよいが、あくまでも Part 3 の作品を主にしてエッセイを書くこと。

物語・小説

1. (a) 物語や小説においては、中心となる人物の行動を描くときに、通常の時間の順序を追って語ることもあれば、より複雑な時間の流れに沿って語ることもあります。学習した作品から例をあげ、時間の扱い方とその効果について考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 「物語や小説の作り方の最も重要な点は、常に読者の注意や好奇心をひきつけておくことにある」という考え方があります。あなたの学習した作品において、作者がどのように読者をひきつけているか、例をあげて、その技法について考えるところを述べなさい。

随筆・評論

2. (a) 随筆には、日常のさりげない一瞬を通して、ことの本質を読者に理解させるという作品が多くあります。あなたの学習した作品から例をあげ、筆者がどのような方法で読者に理解させようとしているか、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 自然あるいは花鳥風月に対する考え方は、随筆・評論においてどのように語られていますか。学習した作品の中から例をあげ、考えるところを述べなさい。

詩歌

3. (a) 二つの事柄が対称的な組み合わせとなっている「対(ついで)」は文学作品において、しばしば現れます。学習した作品において、「対(ついで)」はどのように使われていますか。その効果とともに例をあげて考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 社会のさまざまな圧力に対して、抵抗の姿勢を示す詩作品があります。詩歌の作者は何を訴えようとしているか、どのような抵抗を示しているかについて、学習した作品から例をあげて、考えるところを述べなさい。

戯曲

4. (a) あなたの学習した作品の中で、クライマックスは、どのような場面で起きていますか。それを生じさせるために、作者はどのような工夫をしていると思いますか。作品を比較し、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 劇作品の背景としての舞台装置（道具立て）は、作品主題の伏線^{ふくせん}の反映であったり結末の暗示であったりすると言われます。あなたの学習した作品の中の舞台装置の用い方を比較し、考えるところを述べなさい。

一般的設問

5. (a) 文学作品は、ここではない世界、ここにはない事柄にアこがれる気持ちを扱うことが多くあります。あなたの学習した作品において、他の世界にアこがれる気持ちはどのように表現され、またそれは作品全体にどのような効果を与えていますか。考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 文学作品の中の重層^{じゅうそう}的表現（いくつもの意味が層^{そう}になって重ねられていること）が、作品としての効果を高めている場合があります。学習した作品から例をあげて、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (c) 理想と現実、外見と真実^{まこと}というように、相反^{あいはん}する要素は、作品の中でどのように扱われていますか。学習した作品から例をあげて、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (d) 文学作品は他の国の文化の影響を受けることが多く、国境はあっても無きに等しいと言う人がいます。他国の文化に深く影響を受け、国境を越えるということがあなたの学習した作品の中にも見られますか。また、それは作品にどのような効果を与えていますか。